

住まいに関するご相談をお受けしています

相談専用電話：06-6242-1177

住まいの一般相談（随時／面接・電話）

住まいを借りるときや購入する際の質問、分譲マンション管理、および大阪市を中心とした公的な住宅施策などに関する質問に対して、相談員が面接または電話で対応します。英語、中国語、韓国・朝鮮語にも対応します（外国語対応は17時まで）。

住まいの専門家相談（予約制／面接）

お申し込みに際しては、相談員が一般相談で内容をうかがってから予約します。日程が変更になる場合がありますので、ご確認ください。

専門家相談日時	内容	
資金計画	隔週土曜日 [10時30分～12時]	住宅取得やローン返済の資金計画等（ファイナンシャルプランナー）
建築・リフォーム	隔週土曜日 [10時～13時]	建築設計や施工上の問題・建築関係法令等（建築士）
法律	概ね毎週土曜日 [10時～13時30分]	借家・借地・土地・建物・相続等に関する法律上の相談（弁護士）
分譲マンション（法律）	概ね月1回日曜日 [13時～16時]	管理組合運営・管理規約等に関する法律上の相談（弁護士）
分譲マンション（管理一般）	概ね週1回木曜日 [14時～18時]	管理組合運営・管理規約・長期修繕計画等に関する相談（マンション管理士）

●相談に関する秘密は厳守します。●係争中の案件や営利目的の相談、トラブルのあっせん・仲裁、賃貸住宅の経営に関する相談等、当センターで対応できかねるものは、他の相談機関等の情報を提供します。●専門家相談は、大阪市内に在住、在勤又は在学の方を対象とします。専門分野ごとに年1回までとさせていただきます（分譲マンション（管理一般）を除く）。

連携機関による定期相談

大阪府建築士会による建築相談…毎週日曜日 13時～16時（受付は12時30分～）
大阪府宅建協会による不動産無料相談…第1・第3月曜日（祝日を除く） 10時～16時（12時～13時休憩／06-6943-0621で予約受付）
近畿税理士会による税務相談…毎週土曜日（但し、2・3月を除く） 13時～16時（06-6242-1177で予約受付）

住まい・大阪に関するセミナーやイベントを開催しています

詳しくは本誌10ページをご参照ください。

大阪市での住まい探しをサポートします

大阪市内の公的住宅のほかUR都市機構の賃貸住宅や大阪府宅建協会の民間住宅の情報を提供しています。

住まい情報センター（住情報プラザ）開館情報

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 4階

開館時間 平日・土曜 9時～19時／日曜・祝日 10時～17時

休館日 火曜日（祝日の場合は翌日）、
祝日の翌日（日曜日、月曜日の場合を除く）、年末年始

1月～3月の休館日	休館日
1月1日～3日、10日、17日、24日、31日	2月7日、14日、21日、28日
3月6日、13日、21日、27日	

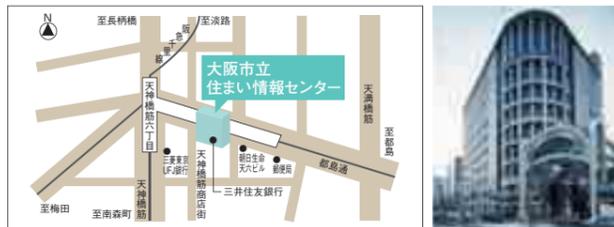
住まいのライブラリーがあります

「住まい」と「大阪」に関する図書を集めたライブラリーがあります。図書は、貸し出しも行っていきます。



大阪くらしの今昔館があります

詳しくは本誌9ページをご参照ください。
※住まい情報センター（住情報プラザ）と開館日時が異なります。



地下鉄谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅3号出口

市内3ヵ所にある大阪市サービスカウンターで広報誌「あんじゅ」をはじめ、住宅関連パンフレットの配布等を行っています。

ディアモール大阪B1F

TEL: 06-6345-1103 FAX: 06-6345-0873

地下鉄難波駅構内B1F

TEL: 06-6211-0874 FAX: 06-6211-0869

あべちかB1F

TEL: 06-6773-0874 FAX: 06-6773-6600

サービスカウンターの営業時間：平日／9時～19時 土・日・祝日／10時～19時

以下、広告です。広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。「広告掲載」のお問い合わせは、大阪市都市整備局企画部住宅政策課 TEL: 06-6208-9224

くつろぎ空間をハイセンスにデザインする
「世界のバス・洗面コーナー」オープン!

ATC輸入住宅促進センター
海外の優れた住宅・建材・部材を紹介する展示場です。

大阪府住之江区南港北 2-1-10 ATCビルTM棟9F
最新情報はwebよりご確認ください。
<http://www.atc-ihpc.com>

TEL.06-6615-5432
営業時間 AM 10:00～PM6:00（水曜定休）

IHPC

あんじゅ

A N G E

“あんじゅ”は、「安心して快適な住生活をいとなむ」ための情報誌です。
また、フランス語でAngeは「天使」という意味。よりよい暮らしを運んでくれる幸せの象徴をイメージしています。

volume
49
2012年 冬号

特集
大阪府立住まい情報センターシンポジウム
住まいのミュージアム「大阪くらしの今昔館」開館10年記念
進化する博物館「旭山動物園と大阪くらしの今昔館」



大阪くらしの今昔館NEWS

大つくりもの
—浦島太郎と龍宮城—展
大阪くらしの今昔館
「日土小学校と松村正恒展
—保存再生された木造校舎—」
大阪巡回展を企画して

資料紹介「明治三十三年 内安堂寺町二丁目絵図」
明治時代の大阪の市街地図
住まいの基礎知識
4回連続企画「リフォームで快適な住まいに」
第3回 **バリアフリーリフォーム**

大阪府立住まいのガイド
借りる・買う・建てる・建て替える
各種住宅施策のご案内

人と住まいを結び情報発信基地
大阪市立 住まい情報センター

〈今月の表紙〉
モダン大阪 パノラマ遊覧
大阪くらしの今昔館では明治・大正・昭和と近代大阪のまちなぎの表情をぐるりと見物できます。表紙は昭和31年当時の古市中国団地。

あんじゅは、春・夏・秋・冬に発行します。次号は平成24年3月31日発行です。

あんじゅ 2012年冬号 平成24年1月1日発行 ■発行 大阪市都市整備局企画部住宅政策課 ☎06-6208-9224 〒530-0041 大阪市北区中之島1丁目3-20 ■編集 大阪市住まい公社 ☎06-6242-1160 〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20

特集 大阪市立住まい情報センター シンポジウム 住まい 進化する博物館「旭山動物園」



平成13年4月26日に開館した、住まいのミュージアム「大阪くらしの今昔館」。開館10年を記念して、平成23年10月16日、大阪市立住まい情報センターでシンポジウム～進化する博物館「旭山動物園と大阪くらしの今昔館」が開催されました。動物を生き生きと見せる「行動展示」で全国的に有名になった旭山動物園と、江戸時代の大坂の町並みを

のミュージアム「大阪くらしの今昔館」開館10年記念 園と大阪くらしの今昔館」



再現し、庶民の暮らしぶりをリアルに展示する「体感展示」で入館者数を増やしている「大阪くらしの今昔館」。この二つは「展示資料や展示方法は異なるけれど博物館としてめざす方向は同じ」と、大阪市住まい公社理事長 岩城良夫さんのあいさつから始まったシンポジウムは、博物館の未来のあり方を考える意義深い内容になりました。

第1部 感動を呼ぶ展示でメッセージを伝える旭山動物園

旭山動物園 園長 坂東 元さん



動物園は、くらしという意味で言えば、超個性派の動物たちがくらししている場所です。うちは広い動物園ではありませんが、そこに一時期、300万人という方が訪れて、「成功した」と言われました。僕たちとしては、足を運んでくださったみなさんが動物たちを見て新たな発見をしたり、やさしい気持ちになれたり、そういうことを持って帰ってほしい、とずっと思ってきました。やはり入園者数が評価軸になり、年間と言うと上野動物園が1番で、しばらく、うちは2番でしたが、昨年3番に陥落しました。でも、それでいいと言っています。要は、動物たちのくらしの営みを通して動物園としてどう取り組んでいるのか。旭山動物園が素晴らしいのじゃなくて、動物達が素晴らしいんだということをしっかり伝えていかなければならないと思っています。

旭山動物園は、人口35万人ほどの旭川市に昭和42年にできた、典型的な地方の中規模動物園です。私は獣医として昭和61年に入ったんですが、当時はボロボロの動物園で、お客さんが減り続ける中で平成6年には外来寄生虫エキノコックスが発生し、途中閉鎖。風評被害で平成8年には入園者数は26万人まで落ち込み、どん底を経験しました。それでも、自分たちができることは地道に続けていて、それが少しずつ一般的に評価され再生していくきっかけにもなった。入園者数はじわじわ増えていき、平成16年には100万人を超え、あり得ない数でしたが、その3年後には307万人にもなりました。でも、うちのような規模の動物園だと、200万人までが足を運んでくださる方に対して目を配れる限度かなと思います。

どの動物も素晴らしい、命に価値の差はない

旭山が評価された部分で一番大きかったのは、お客さんにウケる形ではなく、あくまで自分たちが動物は素晴らしいと思っている視点で発信してきたことにあると思っています。もう一つは、どん底の時と300万人の時と、動物の顔ぶれがほとんど変わっていないことです。新しい動物を足したわけではなく、「こんなの」と言われた動物たちの見せ方を工夫したことで、もう一回みんなが振り向いてくれた。スタッフは全然プロ集団ではありませんが、ここまでこれた原点を考えると、やはり、自分が対象としている動物に価値を見出し、自分の中から湧き出るような気持ちで皆が一つの方向を向いてやることが大きい。私は獣医になり、生きることの大切さを人間の価値観の中で見ていました。でも、動物園に入って動物たちが人間と全然違うすごい尊厳のある生き方をしている、思いもしなかった生命観があると思いついた。どうすればその動物らしく生きられるのか、どうしたらその動物らしく最期を迎えられるのか、に関わるべきだと気づき、それが私の原点になりました。動物は痛みや苦しみを受け入れる生き方をして、だから恨む目を見ないで最期を迎えていきます。そういう動物たちの純粹さ、気高さ、尊厳を思っています。

しかし、お客さんは、おもしろいおもしろくない、可愛い可愛くない、珍しい珍しくない、という表面的なところにだけ評価を与えてしまいがちです。パンダやコアラやラッコがブームになる中で、生き物に価値の差が生まれ続けた時代があります。ラッコブームの時に子どもがアザラシを見ていると、大人が、これラッコじゃないよ、ただの

アザラシよと言ったりした。それを聞いた子どもは、なんだ、ただのアザラシなのかと思う。さらにくやしいのは、命を預かっている側が命の価値に差をつけて見せ続けたこと。せめて、大人の価値観を子どもに移し続けられないことが大事。子どもたちが素晴らしいと思ったことを伸ばしてあげるようにしたいです。

動物のありのままの「すごい」を伝える見せ方

施設が古くてもお金がなくても、動物たちは素晴らしいと思いつけている自分たちが架け橋になろう、僕らには伝える使命があると「ワンポイントガイド」が生まれました。これは20数年ずっと続けて一回も休んだことはない。「つまらない」で終わらせられないんです。「行動展示」という展示も、僕らの価値観とスタンスで評価してほしいという視点から生まれたものです。動物園は人間のエゴで作った場所ですが、そこに閉じ込められている動物がその動物としての一生を送ってその動物らしく一生を終られる環境を整えてあげること。それが日本や世界中で発想としてなかっただけなんです。だから、何も奇をてらってはいなくて自然なことだった。どこに感動してほしいかは、ありのままが一番美しいはずなので、着飾った姿や芸をしたりではなく、日常のふとした瞬間が素晴らしいと感じてほしいということで施設を考えました。

たとえば、ヒヨウの檻（右写真）は一番ヒヨウらしく居心地よく過ごせるようにヒヨウの目線で考えて、その次に人間の目線で考えました。それまでは、寝ていてつまらないからと、お客さんが石を投げた。そこが理解できないのですが、でも、今は少なくとも寝ていてもつまらない、じゃなく、感動して見てもらえるようになりました。飼育している動物に恩返しできたような気がします。ほかにも、その動物らしい生き生きとした姿が何より素晴らしいのだという考



ヒヨウの檻

え方。アザラシ館ではアザラシが円筒の中に入っただけで歓声がある。ショーや芸じゃなく、日常の当たり前でこれだけ歓声があったのは、日本の動物園史上初めてだろうと思います。ただのアザラシだったものがそうじゃなくなり、他の動物園もパンダやラッコじゃなくても今いる動物で感動を呼ぶことができるという視点に変わっていった。ほんの小さな組み合わせで変えることができるし、ありのままの姿を見てもらって動物の生き方を知ると、何が大切で何を守るべきなのかが見えてくる。心の中で彼らのくらしを感じて本当に愛おしいと思えるようになるのだと思います。

作りっぱなしではなく、ソフトを工夫して伝え続けること。ハードとソフトの両輪だと思っています。たくさんの方が来るきっかけになった「もぐもぐタイム」や、アナログにこだわったタイムリーな手書きの情報発信も続けています。動物を擬人化しない、人の価値観にひきこんで見せない、動物の尊厳を傷つけない。それが旭山の考え方の軸です。これからも、動物の「すごい」を伝えていきたいと思っています。

第2部 今昔館は旭山動物園をめざす～おもしろく「歴史」を体験～ 大阪くらしの今昔館 館長 谷 直樹さん



大阪くらしの今昔館は、昨年度の来館者が20万人を超えて喜んでいましたが、旭山動物園の話聞いて、上には上があるものだと思います。とはいえ、博物館として、旭山動物園とくらしの今昔館は似たところがあることもわかりました。珍しい動物はいないという旭山に対して、今昔館にも珍しい展示物はありません。旭山ではありのままの動物の日常を、今昔館ではありのままの大坂の暮らしぶりを、それぞれ興味深く見ていただくために、見せ方に工夫を凝らしています。先ほど、坂東園長は、飼育係の人たちが「展示物」の一部とおっしゃいましたが、今昔館ではボランティア・町家衆はもちろんのこと、来館するお客さんも展示の風景になっています。そして何よりも一番共通しているのは、両方とも運営のお金が少ないので、手作りですべてを補っていることです。

ところで、大阪くらしの今昔館の目玉展示である江戸時代の復元町並みは、一朝一夕にできたものではありません。平成4年に企画がスタートし、平成6年に展示設計ができましたが、その直後に阪神淡路大震災が起り、急きょ、設計を変更して町並み展示室の床下に免震装置をつけました。今昔館が入っている住まい情報センターは平成11年にオープンしましたが、「住まいのミュージアム」は遅れて平成13年の春に開館し、翌年には「大阪くらしの今昔館」の愛称がつけられました。

大阪の原風景とほんまもの文化を体感

今昔館の存在意義は何でしょうか。大阪は現代都市であると同時に歴史都市です。ところが、大阪の原風景である歴史的な町並みは、ほとんど残っていません。本の知識から「天下の台所」「町人のまち」と言いますが、実際にそれを体感する空間があれば、大阪に対するアイデンティティーももっと強くなります。実物大の江戸時代の町並み再現はこうして企画されました。それがビルの最上階(9階)にあるところが、今昔館のユニークな点です。

今昔館の展示を見て、高齢者は「そうそうこんな風景があったなあ」と気持ちが和み、生きる力が湧いてきます。若者は「大阪も捨てたものでないよ」と再認識します。子どもたちには、大阪の原風景と暮らしの文化を五感で伝えることができます。それは、今昔館の開館のポスターにある「ほっとしたいその人、しばし時を忘れて、浪花見物に参りませう」のキャッチフレーズどおりになっています。

今昔館の江戸時代の町並みは、学術的に高い評価が与えられています。それは、研究者による厳密な復元設計をもとに、桂離宮の昭和の大修理を担当した大工棟梁が、昔の技術で建物をたててくれたからです。まさに「ほんまもん」(本物)です。これに、年月を経た重厚さを出すため、映画の美術監督の手で、柱の風食や白壁のひび割れ、雨落ちなどがリアルに再現されました。そして、この町並みでは、朝から夜までの1日の変化が45分で体感できるように、音や光やCGなどの最先端技術を駆使した演出が行われています。これに人間国宝の桂米朝さんの語りか加わり、今昔館の魅力を高めています。

もう一つ、今昔館がその博物館と違うのは、町家の中では展示ケースを使っていないことです。本物はガラスケース越しではなくナマの姿で見せよう。町家に飾った屏風や掛軸は、実は本物です。

生活文化財はできるだけ当時のままの姿でご覧いただく。これが今昔館のこだわりです。

天神祭でも、今では絶えてしまった祭りの風景を再現しました。幔幕をはり、屏風を立て、「嫁入り道具一式のお獅子」のように遊び心の効いた「造り物」を飾る。これが祭りの日の大阪の文化でした。また、町家では上方落語の会やお茶会が開かれ、さらに昔の大阪の婚礼も再現しました。今では、多くの来館者が和服着付けを体験します。彼らが和服姿で町並みを歩くことで、にぎやかで生きた町になってきました。お客さんをまきこんだ展示は、日本の博物館の中でも珍しい存在と言えるでしょう。

一方、8階の近代大阪の展示室には、精巧な「大阪六景模型」があります。9階の実物大とはがらりと趣きを変えて、ミニチュアの世界の魅力があります。ここで1時間に2回上演される「住まい劇場」では、八千草薫さんが上品な大阪言葉で近代大阪のくらしを語ってくれます。さらに企画展示室では、さまざまな特別展を開催してきました。「昭和レトロ家電(右写真)」、「住まいの絵本」、「茶室起こし絵図」、「おまけ大行進」など。少ない予算の中でいかにおもしろい切り口でユニークな企画をするか、たくさんの人に来てもらうか。学芸員が知恵を



昭和レトロ家電の展示

町家衆によって生み出される大阪らしいにぎわい

最後になりましたが、大阪くらしの今昔館には他館にはない活動があります。それはボランティアの町家衆(下写真)です。実は、今昔館では開館前からボランティアの活動が始まり、一緒に博物館を作ってきました。今では200人近くに成長しました。町家衆は、本当に今昔館にふさわしい名前です。私はかつて「町家をたのしみ衆」と解釈しています。「無理をせず、自分の楽しいことをするのが最大のもてなしになる」。これが町家衆の合言葉です。町並みを案内する「町家ツアー」、南京玉すだれや紙芝居、夏の風物詩「肝だめし」など、来館者と一緒に楽しめるイベントを生み出しました。今昔館の活気の最大の原動力がこの町家衆にあると言っても過言ではありません。まさに、おそるべし、という力を発揮しています。

今から160年前、大坂の歌舞伎狂言の作者であった西澤一風という人が、大坂の気風について「花やかに陽気なることを好む」と書き残しています。今昔館は、まさに陽気な大阪人が育てあげた、大阪ならではの博物館になりました。こうした今昔館の企画と活動に対して、多くの建築関係の賞を受賞しています。

「博物館はお勉強の場」という固定観念をくつがえし、楽しみながら体感し、気がついたら歴史や文化を学んでいた。こんな博物館になりたいと願っています。



ボランティアの町家衆



江戸時代の大坂を再現した「大坂町三丁目」の町並み。45分程度朝から夜までの1日の時間の流れを体感することができるもの。和服の着付け体験により来館者が和服姿で見学することで、まちのにぎわいを生み出しています。



今昔館開館10周年イベントで開催した「いとほんのお嫁入り」は、旧家に伝わった打ち掛けを着た花嫁が通りを歩き、大阪の古式ゆかしい婚礼を再現。



江戸時代の町並みで開催された落語会は、古典落語の世界と重なるリアルな空気感も楽しめました。



天神祭の季節には、町並みの中にお祭り風景を作り出し、箆や布団を顔や体に見立てた造り物「嫁入り道具一式のお獅子」を店先に飾ります。造り物は大阪発祥と言われています。



ボランティアの町家衆は江戸時代の町並みを案内しながら、和服の着付けを、南京玉すだれやけん玉の実演で楽しくもてなし、手作りの「のぞきらくり」も実演しています。



8階の近代大阪をめぐるフロアでは、「川口居留地」「北船場」「大坂新開地」「空堀通」「城北バス住宅」「古市・中団地」を細部まで再現した精巧な模型を展示。かつての大阪のさまざまなくらしの様子を見ることができます。



企画展は、住まいや暮らしに関する展示会を開催し、平成23年には、昭和30年代の家庭電化製品を展示した「昭和レトロ家電」展や、江戸時代の芝居・祭り・花暦を特集した「なにわの遊・楽」、また、江戸時代の町並みの中で大つくりもの「浦島太郎と竜宮城」を開催。町家衆も裏方でさまざまなサポートしてくれました。

第3部 対談「進化する博物館」



ほんまものの昔の人のくらしを体感し、学べる今昔館へ

大阪くらしの今昔館 館長
谷 直樹

谷 今回、なぜ、旭山動物園と大阪くらしの今昔館なのか、という質問が多くありました。実はどちらも博物館なのです。日本には博物館は5700館ほどありますが、そのうち約6割が今昔館のような歴史系の博物館。動物園・水族館は合わせて200館しかないのですが、集客力では圧倒的に強く、マスコミの露出度も全く違います。今回、動物園のプロの立場で今昔館を見ていただいて、どんなふうに映ったのか、感想をお聞きかせください。
坂東 歴史系の博物館は動物園に比べてあまりなじみがない感覚がありますが、基本的には自分たちの見てもらう物があって、来てもらいたいという思いがあるのは同じだと思います。今日、こちらを見せていただいて、まるで自分の子どもの頃の生活にタイムスリップしたような気持ちになり、そのまま、ここで暮らしてしまうのじゃないか、みたいな感覚を覚えました。民俗系の博物館は、昔、日用品だった物があたかも美術品のような展示物に変わってしまい、さわることできないし、それがどんな機能を持っていたのかもわからないことが多い。その時点で伝える部分の本質がずれてしまっている。でも、こちらでは掛け軸も美術品ではなく生活の中で飾って見えていた日用品として展示されている。くらしというテーマを実感として感じることができ、ここで体験生活をしたら楽しいだろうなという気持ちになりました。素晴らしい博物館で、ああ、本当はこうだよなとすごく思いました。
谷 博物館の学芸員は、どうしても作品の保存が主眼になります。ですから、来館者が展示物に触れたり、使い方を体験するのはなかなか難しいことです。今昔館では学芸員とずいぶん議論を重ねました。いわゆる「裸展示」には難色を示す意見もありましたが、最後は館長の私が責任を持つことで実現しました。
坂東 うちも動物と人との距離が近い。無理をしたら届いてしまうが、無理をしなかったら届かない。要するにさわらないでね、ということなのですが、そういうやり方で共生的に距離をはかっています。

谷 今昔館の裸展示でも、屏風に穴を開けられるのではないかと、小物は持って帰られるのではないかと、そういう心配がありました。しかし10年間やっていて、そういう事故は起こらなかった。なぜかと考えると、中途半端に見せると返っていただけだろうと思うのですが、真剣に展示をしようとすると、意外にワンパク小僧もわかってくれるようです。
坂東 やはり、伝わる臨場感を大切にしたいですね。1万人のうち1人がルールを破るかもしれないことを警戒して対策をすれば、あとの9999人に対してやりすぎという気がしません。人を信用し、徹底的に自分たちの思いとコンセプトを持ち続けることだと思います。
谷 今昔館の実物大の町家の中に入ると、現実と仮想がわからなくなることがあります。桂米朝さんが初めて来られた時、町家の座敷に座ってふとタバコを出された。それを見て、私は米朝さんが本物と認めてくれたなあと感じて、この展示に自信を持ちました。もちろん、タバコは吸われませんでしたけど。あそこはタバコに火をつけたら煙感知器が作動して、放水が始まります。普通のお客さんでも、昔の世界に入り込んで現実と思い出がまぜこぜになる。だから「ほんまもん」をありのままに見せるのはたいへん大事なことだと思います。旭山動物園は、単に動物が寝ているだけだった昔の動物園とまったく動物に対する考え方が違いますね。
坂東 自分たちは動物をありのままに思っているのですが、ブームになってから来られた方はマスコミで見ている方が多いので、アザラシはプールにいる、オランウータンは渡る、ホッキョクグマなら泳いでいる、という行為が、見方の価値基準に均一化してしまったところがあります。でも、うちは無理矢理、強制的に見せるとか調教して何かをさせるとかは全くなく、僕たちは誘導し続けているだけ。動物の気分しだいなので、オランウータンが渡らない時もあります。すると、文句をいろいろ言われ、対応が結構辛い時代がありました。だから、もう一回組み立てなおす時期かなと思っ

動物の素晴らしさを実感し、より共生をはかる動物園へ

旭山動物園 園長
坂東 元



ています。自分たちにとっては20年も30年も前からアザラシは素晴らしかった。それを多くの人に共感していただけるようになった、ということなので、これから本当に僕たちは何をめざすのか、もっとしっかり目的意識を持って取り組んで行きたいと思っています。
谷 ここまで来ても、また次の課題が出てくるのですね。
坂東 目標や夢は達成することがない。逃げ水みたいにどんどん先へ行きます。
谷 旭山動物園は今までの動物園と違うという期待感がある、マスコミなどでオランウータンの渡りをやっている自分も見たいと思っ

ています。自分たちにとっては20年も30年も前からアザラシは素晴らしかった。それを多くの人に共感していただけるようになった、ということなので、これから本当に僕たちは何をめざすのか、もっとしっかり目的意識を持って取り組んで行きたいと思っています。
谷 ここまで来ても、また次の課題が出てくるのですね。
坂東 目標や夢は達成することがない。逃げ水みたいにどんどん先へ行きます。
谷 旭山動物園は今までの動物園と違うという期待感がある、マスコミなどでオランウータンの渡りをやっている自分も見たいと思っ



地上17mのタワーの間にはられたロープを渡るオランウータン。母親が子どもを見守りながら一緒に渡る姿は感動的。「渡り」は強制的ではないので、見ることができないこともあります。



水中を素早く泳ぐペンギンは、陸に上がればよちよち歩き。園内での散歩は、積雪期の運動不足解消のために、ペンギンの自由意志で行われます。人気がありますが、道をふさいだり、触れたり御法度。



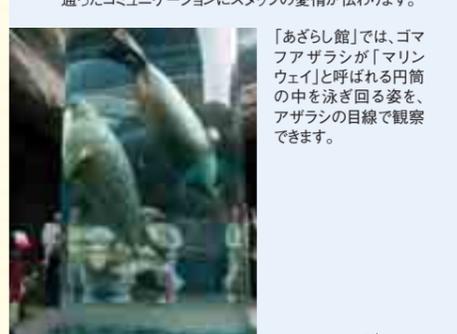
毎週日曜・祝日に実施されている飼育展示係による「ワンポイントガイド」。動物のありのままの生態を理解してもらうために欠かさず行われている旭山動物園の特色の一つ。



動物たちは食べている時に特徴的な行動や習性が見られます。「もぐもぐタイム」は、そんな様子を飼育展示係の説明とともに観察できる貴重な時間。これは1日2回行われるホッキョクグマの「もぐもぐタイム」の様子。



旭山動物園で来園者にいろいろな動物たちの情報を届けるのが「手作り看板」。生き物を見ているという血の通ったコミュニケーションにスタッフの愛情が伝わります。



「あざらし館」では、ゴマフアザラシが「マリンウェイ」と呼ばれる円筒の中を泳ぎ回る姿を、アザラシの目線で観察できます。

4回連続企画「リフォームで快適な住まいに」

第3回 バリアフリーリフォーム

バリアフリーリフォームは、加齢、病気、ケガ等での身体機能の変化による生活の質の低下を向上させ、身体への負担を感じることを少なくして安全で快適な住生活を目指しています。バリアフリーリフォームの工事内容はきっかけによって違ってきますが、対象の方だけではなく一緒に住んでいる人が暮らしやすい視点も忘れないで設計、施工を考えましょう。



●準備が大事

代表的なバリアフリー工事は、手すりや段差解消です。手すりは玄関周辺、階段、浴室、脱衣所、トイレ等、段差解消は浴室と脱衣場、上がり框や敷居等です。

高齢者に多い足腰の不自由には、座の暮らしからイス座の暮らしへの変更が有効で、和式トイレから洋式トイレへの改装は代表的なものです。

設備機器はバリアフリー対応商品が次々出ています。トイレやベッドメーカーのショールーム、大阪市南港のATC ITM棟11階にあるATCエイジレスセンターでは、商品の体験だけでなく、高齢者の身体機能の疑似体験や車椅子の試乗体験をして開口部の幅や廊下の幅などを確認でき、リフォーム前には必見です。リフォーム工事を重点的に行っている事業者にはバリアフリーコーナーを設けているところもあります。最新の情報を入手し、器具等で体験することはリフォーム計画に大いに役立ちます。

住まいのバリアフリーは高齢者だけではなく、事故、病気による生活の不便、不自由は誰にでも突然起こります。突発事態にも対応が素早くできるように新築、リフォームの機会に手すり用の下地材、段差解消等の下準備や情報の収集を心がけましょう。

●使う方に合わせて、しっかり時間と手間をかけたリフォーム計画と工事

身体機能は変化します。同じ身体状態が何年も続くのか、それとも短期間のうちに介助、介護が必要になるのかによっても工事内容は異なってきます。医療や介護の専門家のアドバイスを受けて計画を立てましょう。

また設計、施工の確認は使うご本人の確認をとることが大事です。「退院後すぐに住めるようにリフォームしておこう」と急いで施工したが、退院後本人にとって使い勝手が悪く、やり直し工事になった事例もよく聞きます。道具やサービスの活用もリフォーム工事計画とともに考えましょう。

バリアフリーリフォームは個人差が大きく、使い勝手にも大きな差があります。あわてて工事をしないで、ご本人立ち会いのもとに、ケアマネージャーやバリアフリーの専門知識や技能を持つ建築士や施工技術者に相談しながら計画を進めましょう。

たとえば、手すりは太さ、形状などが使う人によって違います。一般的には、直径3cmの木製が持ちやすく力が入れやすいだけでなく、感触も冷たくないですが、浴室や屋外には樹脂製やステンレス製を使い、リュウマチ等握れない方向けには平たいものを使います。手すりは実物を握って確認しましょう。

また手すりは連続していることが大原則です。開口部や階段の昇り口などは取り外しのできる手すりを用いると便利です。手すりの端は安全のために衣類の袖が引っかからないように始末しましょう。

事例 トイレの手すりやドアの入れ替え



縦・横の手すりを便座の前方に設置しました。これで立ち上がる時にテコの原理が使えて大変楽になりました。
開閉式のドアを引き戸に交換しました。それにより開口部が全部使え、ドアの開閉にかかわらず廊下は支障なく使えることも便利です。

●もう一つのバリアフリー

温熱環境のバリアフリーも重要です。室内の温度差が大きいとヒートショックが起こります。ヒートショックとは、部屋と廊下、脱衣場と浴室の間等で温度差が大きく、脳梗塞などの病気を引き起こすことです。断熱材、省エネ建材等の省エネ住宅は家の中の温度差が小さくなり、病気予防になります。トイレを寝室に近い位置へ設置すると一石二鳥です。

●相談窓口

バリアフリー改修工事の経験豊かな建築士や、福祉と建築両方の観点を持ち合わせた福祉住環境コーディネーターに相談することをお勧めします。障がいの程度が時間的なことも含め今後どのように変化するかもリフォーム計画では大事な視点です。リフォーム工事のレベルに応じた専門家を選びましょう。

■大阪市社会福祉研修・情報センター (TEL:06-4392-8740)

高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅改修に関する相談を、建築士が月一回(平成23年度は第4火曜日)、来所により応じます。事前に電話で予約して下さい。相談の時は図面等の資料を持参されると効果的なアドバイスを受けることができます。

●助成制度

バリアフリー、高齢者住宅のリフォームの公的助成制度は、補助金、減税が準備されています。下記の補助のほかにも住宅エコポイント制度では平成23年11月21日～平成24年10月31日に行われる省エネリフォームに併せてバリアフリー工事を行うと上限5万ポイントが加算されます。

■介護保険の住宅改修補助

代表的なものは介護保険制度に基づくバリアフリー改修の補助です。介護認定を受けた方の住宅改修に対して20万円まで保険が支給されます。ケアマネージャーにご相談下さい。

■大阪市 重度心身障害者(児)住宅改修費の給付

大阪市は重度の心身障害者(児)の住宅改修費の補助制度があります。詳細は(<http://www.city.osaka.lg.jp/kenkofukushi/page/0000007582>)をご参照下さい。

●融資

■高齢者住宅改修支援事業

(財)高齢者福祉財団と住宅金融支援機構がタイアップして行っている60歳以上の方を対象としたリフォーム融資の支援事業です。バリアフリー工事・耐震改修工事が対象の高齢者向け返済特例制度と、耐震改修工事と同時にバリアフリー工事が対象のリフォームローンがあります。詳細は(財)高齢者福祉財団が住宅金融支援機構(TEL:06-6281-9281)にお問い合わせいただくか、(<http://www.city.osaka.lg.jp/kenkofukushi/page/0000006625>)をご参照下さい。その他金融機関のリフォームローンは、お近くの金融機関に直接お問い合わせ下さい。

●減税

■所得税

30万円を超える一定のバリアフリー改修工事を行った場合に200万円(平成24年1月1日～平成24年12月31日までは150万円)を限度として、10%の控除を受けることができます。リフォームローン減税型と自己資金利用の投資型減税の2タイプです。詳細は(http://www.refonet.jp/biz/info/fund/tax_reduction/)をご参照下さい。

■固定資産税

大阪市は、65歳以上の方や要介護、要支援の認定を受けている方、障がいのある方が平成19年4月1日から平成25年3月31日までの間に、バリアフリー改修工事を行った住宅に要件に適合すれば翌年分の固定資産税額(100㎡相当分までに限る)が1年間、3分の1に減額されます。バリアフリー改修工事費用が30万円以上であることや賃貸住宅ではないこと、などが要件となっています。また申告は工事内容を示す書類などを添付して、改修工事後3ヵ月以内です。

NPO法人住宅長期保証支援センター 専務理事 鈴森 素子
(次回予告「マンションリフォーム」)

大阪
くらしの
今昔館
news
volume.42
平成24年1月

大阪くらしの今昔館では、開館10年を記念して、10月5日から11月20日まで、企画展「大つくりもの―浦島太郎と龍宮城」を開催した。期間中およそ27,000人の来館者があり、とりわけ小学生でにぎわった。企画展と聞くと、ガラスケースのある企画展示室で開催されたと勘違いした人がいるかもしれない。しかしこの企画展は、江戸時代の町並みを再現した「大坂町三丁目」が会場になった点に特徴がある。常設展示室を使った企画展は、おそらく全国で初めての試みであろう。

江戸時代の大坂では、祭礼の時に造り物を奉納した記録があり、今昔館の常設展示「夏祭りの飾り」でも、町家の店の間に「嫁入り道具一式の獅子」や「化粧道具一式の鶏」などを展示し、好評を博してきた。この造り物は大型でより派手なものに進化し、20年に一度の神社の遷宮では、町家の屋根や大通りに飾られるようになった。今回の企画展では、これを「大つくりもの」と名づけた。江戸時代の後期には住吉の風景や富士山、二見が浦の日の出などを大屋根の上に飾ったという記録がある。

今回は大坂町三丁目の氏神である「安住大明神」の遷宮を祝う大つくりものとして、「浦島太郎と龍宮城」を企画した。浦島太郎の物語は、大人から子どもまで誰でも知って



いる昔話で、一説には住吉の人とも言われており、大阪にちなんだ企画である。

その趣向は、大坂町三丁目の町並みを海中の龍宮城に見立て、町の入り口に龍宮門があり、左右の町家は龍宮城の建物。亀によって龍宮門にやって来た浦島太郎を乙姫が迎える。こういう筋書きである。

浦島太郎と乙姫は灯籠型の造り物にした。竹で人形を組み上げ、和紙を張って着色した。これは伝統的な提灯づくりを応用したもので、京都の高橋提灯株式会社が制作を担当した。

灯籠型の造り物は各地の祭礼で制作されている。岐阜県関市の関まつりには趣向をこらした「あんどんみこし」が奉納されている

ので、監修者である大阪芸術大学の西岡陽子教授と関市を訪れ、協力を依頼した。その結果、「関みこし愛好会」から龍宮門、「金龍親友会」から竜王の入り口に置き、竜王は呉服屋の店の間に頭を、建具屋に尻尾を飾った。

今昔館の展示場は、朝昼晩

の1日の演出ができる。夕方になると灯籠型の造り物には灯りが点り、夜空にはCG映像の花火や満月が映し出され、ふだんの町並みとはまったく異なる幻想的な風景が現れた。

薬屋の店の間には唐風の家具を配置して乙姫御殿に見立て、会所の表の間には玉手箱を飾り付けた。さらに大阪人間科学大学吉田研究室制作の絵灯籠、大阪市立大学谷研究室制作の海老や蟹の紙細工と、浦島物語の切絵を町家の店の間などに展示した。

今昔館の企画展ではいつも大活躍の町家衆(ボランティア)は「帯一式の宝船」を出品した。これは豪華な袋帯40本を使ったもので、江戸時代に大坂で出版された『造物趣向種』をネタ本に使った。また、合計1,000匹にもなる鯛やひらめの魚の大群は、町家衆の手になる切紙細工である。さらに町家衆の手で乙姫の衣装が制作され、日曜日ごとにこれを着用した乙姫様が会場に現れた。

大阪には、江戸時代から町ぐるみテーマパークに変身する催し物があった。今回の企画展では、大阪人の遊び心を十分に満喫していただけたのではないだろうか。

(大阪くらしの今昔館館長 谷直樹)

大つくりもの―浦島太郎と龍宮城―展

「日土小学校と松村正恒展 —保存再生された木造校舎— 大阪巡回展を企画して

2011年12月3日から12月25日までの3週間、大阪くらしの今昔館(大阪市立住まいのミュージアム)において、「日土小学校と松村正恒展」が開催された。これは、2011年春に東京のギャラリー・エークウッドで開催し好評を博した展覧会の関西での巡回展として企画されたものである。実施は、大阪くらしの今昔館とギャラリー・エークウッドの共催、協力・(株)竹中工務店。大阪での開催ということで、建築家・松村正恒の思想やデザインに影響を与えたと言われる大阪市建築技師の伊藤正文についての解説を加えた展示を企画・実施した。

新しいけど 懐かしい木造校舎

愛媛県八幡浜市役所の建築技師として優れた学校や病院施設などをつくり活躍した建築家・松村正恒(1913~1993)。その代表作である「日土小学校」は、1999年にdocomomo20選にも選定された日本を代表する木造モダニズム建築の傑作である。しかし、いわゆる我々が思い浮かべる茶色の「木造校舎」とは異なり、伊藤正文の言う「インターナショナル」と「ローカリティ」が共存した「木造校舎」なのである。

若き松村が東京の武蔵高等工科学校(現・東京都市大学)や当時最先端の「インターナショナル」スタイルのデザインを行っていた土浦亀城建築設計事務所で欧米のモダニズムの洗礼を受けながらも、日本で欧風の表現手法にこだわることに限界を感じたことが、独特の「木造校舎」のデザインを生んでいる。松村は、戦後生まれ故郷の愛媛に戻り、地域や環境を生かした日本独自の木造モダニズムを追求した。展覧会では、「日土小学校」を中心にいくつかの作品の映像・写真、書簡やノートなど資料を通して建築家・松村正恒の思想の一端を紹介した。

保存再生された 日土小学校

日土小学校も竣工後約50年が経ち、建物の老朽化や耐震性能の課題から、建替えを含む再生計画の議論がなされ



児童が描いた「私の好きな場所」
「見晴らしのよい図書館」
作者: 前敷 美沙紀さん 6年生(2010年度)

た。その結果、地域の人々が出した結論は、日土小学校を安全で現代的な学校にするとともに、生きた文化財建築へと甦らせることだった。多くの人々の情熱と努力と叡智によって、2009年春、現代的な機能と設備を盛り込んだ増築部を含む保存再生工事が完成。その経緯は、建築保存の一つの成功例となって、地域と建築を繋ぐこと、また再生と保存のあり方、さらには、モダニズム建築の思想や本質を示したと言える。今回の展覧会で特にこだわったのは、「生きた日土小学校」だ。子供たちの笑顔溢れる映像や写真、そして、全校児童にお願いした「私の好きな場所」の素晴らしい「絵」と「文章」が、まさに、松村正恒が実現したかった「いい学校ができれば、それでいい」を体現している。

花田佳明・神戸芸術工科大学教授による 講演会を開催

松村正恒研究の第一人者であり、保存再生プロジェクトでも中心となった花田佳明・神戸芸術工科大学教授の「松村正恒の思想」と題した講演会を12月4日に住まい情報センター研修室で開催した。展示だけでは伝わりにくい松村正恒の思想や日土小学校で実現されていることについての講演会に参加された聴衆は熱心に聞き入っていた。

ギャラリー・エークウッド企画マネージャー
松隈 章((株)竹中工務店設計本部)



資料紹介

「明治三十三年 内安堂寺町二丁目絵図」

明治時代の 大阪の市街地図

「明治三十三年 内安堂寺町二丁目絵図」(個人蔵)には、当時の大阪市南区内安堂寺町の町割と、敷地内の建物や生活設備が描かれ、明治期の大阪市内の住環境をうかがうことができます。内安堂寺町二丁目は東横堀川に架かる安堂寺橋を起点として東へのびる町で、現在の大阪市中央区安堂寺町1丁目・2丁目・松屋町の一部にあたります。

「内安堂寺町二丁目絵図」を所蔵する井上家は江戸時代、大阪三郷の北組・駿河町(現在の中央区神崎町)で醤油・塩・酢などを販売する商家でした。明治以降、内安堂寺町に移り、家業の傍らで貸家経営に乗り出します。明治20~30年代にかけて貸家経営の規模を拡大し、最終的には近世以来の家業を廃業し、貸家経営を専業にします。

井上家の当主・平兵衛は地域行政にも積極的に携わり、区会議員、学務委員、衛生組合委員などを歴任しました。とりわけ衛生組合の活動に力を注ぎ、地域の居住環境の向上に大きく貢献しました。

「内安堂寺町二丁目絵図」は、井上平兵衛が衛生組合委員を務めていた時に作成したものです。当時、大阪ではペストやコレラといった伝染病が繰り返し流行し、多くの死者を出していました。町内の衛生状況を把握し、伝染病の発生を未然に防ぐ対策を立てるために、井上自身が町内を歩いて見回り、敷地ごとに建物の配置、井戸や便所、排水路などを記録しました。

絵図に描かれた町の様子をみると…
【町割と建家数】明治33年当時は、小谷筋から御祓筋までが内安堂寺町二丁目の範囲となっていますが、江戸時代は小谷筋から谷町筋までを坂田町、谷町筋から善庵筋までを内安堂寺町、善庵筋から御祓筋までを播磨町といい、3つの個別町に分かれていました。

内安堂寺町二丁目には75筆の宅地があり、99棟の町家が軒を連ねていました。そのうち戸建は62棟、長屋建は37棟でした。大阪の町家といえば長屋というイメージがありますが、内安堂寺町では戸建が主流であったようです。長屋は1棟に2~3戸のものが多く、大

正期以降の新開地にみられるような4~6戸の長大な長屋は少数でした。

また、敷地内の様子を見ると、道路に面する町家の奥に蔵、納屋、離れなどが建てられている敷地と、奥に貸家を建てている敷地があります。奥に貸家が建てられている敷地はゆとりがなく、窮屈な印象を受けます。

【便所】絵図の中で便所は□で示されています。道路に面する表家ではほぼ各家に1箇所便所が設けられ、裏長屋でも専用便所が設けられた住戸が多くみられます。裏長屋という共同便所のイメージがありますが、思いのほか専用化が進んでいたようです。

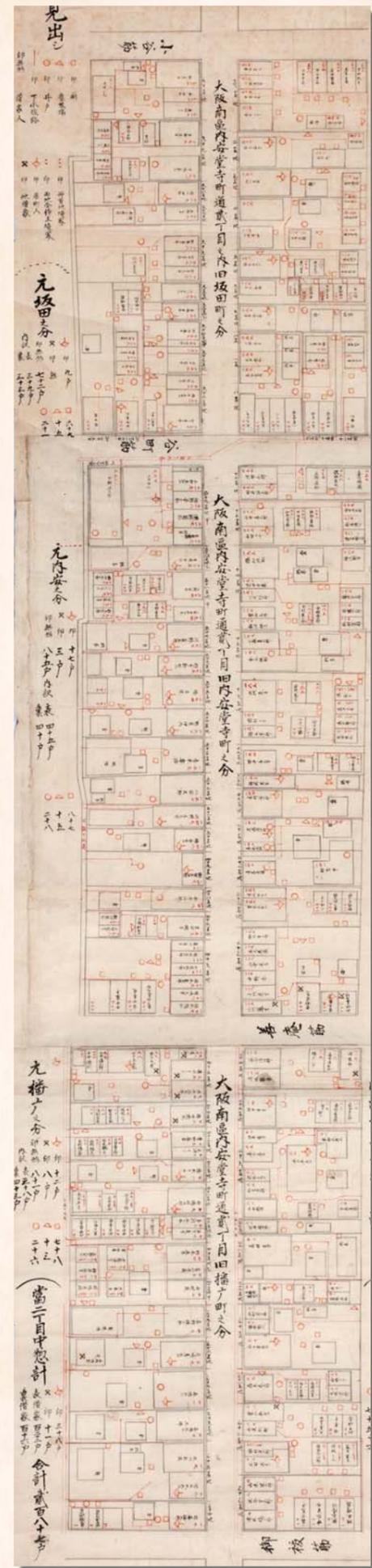
【井戸】井戸は○で示されています。共同のものが1箇所設置されている敷地が一般的であったようです。なかには、専用井戸を持っている家もあります。逆に、井戸が設置されていない敷地もあります。その理由として、江戸時代の大坂では飲料水は井戸水ではなく水売りから購入しており、飲料としての井戸水が必須のものではなかったことが考えられます。また、この頃から上水道の整備が始まっていたことも理由の一つと考えられます。内安堂寺町では明治33年に上水道による給水が始まりました。ただし、水栓の設置は希望者の申請によるもので、普及率は低かったようです。

【ゴミ処理】絵図中、△で示されているのが塵芥箱(ごみ箱)です。塵芥箱は、各住戸に設置が義務付けられていました(裏長屋は5戸に1箇所)。しかし、絵図をみると、一つも設置されていない敷地が大半でした。現在と比べれば、はるかにゴミの量は少ないと思われるかもしれませんが、住人はどのようにゴミを処理していたのか、気になるところです。

このように「明治三十三年 内安堂寺町二丁目絵図」をみてみると、当時の都市生活の様子に思いをめぐらせることができます。

現在の安堂寺町界隈はオフィスビルや高層マンションが建ち、街の様子は大きく変化していますが、ビルの谷間に残る町家や、路地の奥に覗く蔵などに、絵図に描かれた明治期の痕跡を探ることができます。

(大阪くらしの今昔館学芸員 深田 智恵子)



大阪くらしの今昔館 催し物ガイド

充実した常設展示や楽しいイベントまで、盛りだくさん内容でお楽しみください。

※常設展の観覧料が必要です。予告なく変更することがあります。事前にお確かめください。

※定員があるイベントは8階受付で整理券を発行します。※新年は平成24年1月3日(火)より開館いたします。

●常設展

■季節のしつらい

- 正月飾り
平成23年 12月14日(水)～平成24年 1月15日(日)
- 節分飾り 平成24年 1月28日(土)～2月5日(日)
- 雛飾り 平成24年 2月19日(日)～3月2日(金)

●企画展

くらしのうつりかわり —なつかしい道具には知恵がある—

会期: 前期 平成24年 1月14日(土)～2月19日(日)
後期 平成24年 3月10日(土)～4月 8日(日)
ただし、会期中1/16・17・24・31、2/7・14、3/13・19・21・27、4/3は休館

私たちのくらしは時代とともに便利なものとなってきましたが、くらしのなかで使われている生活道具もさまざまに工夫されてきました。明治期から昭和40年代までの生活道具を通して、くらしの知恵や変遷を紹介します。



こたつ

- 観覧料: 企画展のみ200円
- 主催: 大阪くらしの今昔館(大阪市立住まいのミュージアム)
- 協力: 大阪くらしの今昔館研究員 増田 健一氏

●イベント

町家寄席-落語、講談

江戸時代ヘタムスリップ! 大阪の町家で落語を聞いてみませんか。
●時間: 午後2時～3時

1月14日(土)

出演・演目: 桂 出丸「高津の雷」
笑福亭 瓶生「いらち傳」



桂 出丸 笑福亭 瓶生

2月4日(土)

出演: 桂 出丸 他



林家 染雀

3月11日(日)

出演: 林家 染雀 他

3月20日(火・祝)

出演: 桂 出丸 他

2月12日(日)、3月4日(日) 町家でお茶会

- 時間: 午後1時30分～3時30分
- 茶葉代: 300円
(8階ミュージアムショップにてお茶券を販売)
- 定員: 先着順50名
- 協力: 大阪市役所茶道部



1月8日(日) 琴の演奏会

- 時間: 午後2時～3時
- 出演: (琴) 澤 千左子 邦楽琴座 飛天 (チェロ) 佐藤 倫、芳村 伊四太郎
- 曲目: 「さくら変奏曲」「春の海」
「会津・出羽・江差のエスプリ」



1月29日(日) 上方の華と粋一座敷舞

- 時間: 午後2時～3時
- 出演: (舞い方) 山村 若禄之、山村 若女 他
(地方) 三絃・歌 菊寺 智子 拳 菊萌 文子



2月5日(日)

古楽器演奏会

- 時間: 午後2時～3時
- 出演: 堀 小也龍 赤坂 放笛



2月5日(日) 町家の豆まき

- 時間: ①午後1時30分 ②午後3時30分
- ※中学生以下対象



2月19日(日) 楽しむ邦楽 琴と尺八のしらべ

江戸時代の大阪の町家で、邦楽の魅力に酔ってみませんか。
●時間: 午後2時～3時
●出演: グループ遊
●演目: 「郷音」「草笛の頃」他



2月26日(日) 津軽三味線

- 時間: 午後2時～3時
- 出演: 和楽器ユニット響喜



3月17日(土)、18日(日) 彼岸の屋台

昔ながらの遊びを中心にして大人も子どもも楽しめるお祭りを演出します。
●時間: 午後1時～4時



3月25日(日) 日本の伝統文化・香道

町家の座敷に座り、香りを聞いて楽しめます。
●講師: 泉山御流 南大阪支部長 栖瑠庵 神垣 裕香
※詳細はホームページ
<http://house.sumai.city.osaka.jp/museum/>



●ワークショップ

1月3日(火)～9日(月・祝)

今昔館に初もうで

—お正月のむかし遊び—

大人も子どもも楽しめる懐かしいお正月の遊び(羽根つき、双六、福笑い、百人一首)がいっぱい。
1月3日(火)だけのお楽しみ…甘酒御接待(先着200名)、着物でご来館の方に粗品進呈(先着50名)
1月3・8・9日だけのお楽しみ…あてもの(先着100名)、おみくじ



1月3日(火)～6日(金)

町家で書初め

- 時間: 午後1時30分～午後4時
- 参加費: 無料
- ※紙・墨・筆などは当館にて準備します。



1月8日(日)、2月12日(日)、3月11日(日)

おじゃみ(お手玉)を作ってみよう

- 午後2時～4時頃

折り紙で遊ぼう!

1月15日(日)「鶴のつなぎ折り」

- 時間: 午後2時～4時頃



2月18日(土)「折り紙を折ろう」

- 時間: ①午後1時30分～ ②午後2時30分～
- 材料費: 100円 ●対象: 中学生以下
- 定員: 各20名(先着順)

1月15日(日)、2月5日(日)、19日(日)、3月4日(日)

町の解説

- 時間: 午後1時～4時

2月5日(日)、3月4日(日) 絵本で楽しい時間

- 時間: 午後2時～2時30分

2月12日(日)、3月4日(日) 今昔語り

- 時間: 午後2時30分～3時

紙しばい 随時開催

3月3日(土) 今昔館のひな祭り

「ひな祭りを祝おう」

- 時間: ①午後1時 ②午後2時30分

「ひしもちを作ろう」

- 時間: ①午後1時30分 ②午後3時
- 対象: 中学生以下
- 定員: 各20名(先着順、8階受付で整理券を発行)

■ご案内

- 入館料(常設展)が必要です。費用の記述のないものは参加無料です。
- 茶葉代・材料費は、当日お支払いください。
- 日時等、予告なく変更になる場合がありますので予めご了承ください。

募集中 大阪くらしの今昔館 ボランティア養成講座

大阪くらしの今昔館において、ボランティア(愛称:町家衆)として活動を希望する方に対し、当館の展示内容などを理解していただくために、連続講座を実施します。3回以上受講された方に修了書を発行するとともに、希望者をボランティアに登録します。

- 時間: 午前10時30分～12時(⑤は午前10時30分～15時頃を予定)
- 開催日: 平成24年①2/5(日) ②2/12(日) ③2/19(日) ④3/17(土) ⑤3/24(土)

- 会場: 大阪市立住まい情報センター5階 研修室
- 応募資格: 特になし ●定員: 50名(先着順) ●費用: 無料
- 申込締切: 1/27(金)ただし、定員になり次第締め切ります。
- 応募方法: 往復はがきによるお申込み(1枚につき1名)
- 記入事項: 往信/申込者住所・氏名・年齢・電話番号 返信/申込者郵便番号・住所・氏名

- 申込・問い合わせ先: 530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20 大阪くらしの今昔館[ボランティア養成講座係]迄
- ※詳細は今昔館ホームページをご覧ください
- ※お預かりした個人情報は目的以外に使用いたしません。

セミナー・イベントガイド

下記の申込先へお申し込みください(特記以外参加費は無料、応募者多数の場合は抽選)

1 住まい情報センター 主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです。

■住まいのなるほどセミナー 「住まいの税金」～Let's 確定申告～

- 日時: 1月21日(土) 13:30～15:30
- 会場: 3階ホール
- 講師: 大野 修(近畿税理士会会員)
- 定員: 100名
- 申込締切: 1月7日(土)
- 個別相談会: 定員4組(1組30分)

■住まいのなるほどセミナー 「必勝! 引越し術」

- ①2月4日(土) 「部屋探しから契約までのチェックポイント」
- ②2月25日(土) 「引越し準備から退去・入居まで」
- 時間: 14:00～16:00
- 会場: 3階ホール
- 講師: ①鶴見 佳子(住宅ジャーナリスト) ②堀田 大地(大阪市消費者センター)
- 定員: 100名
- 申込締切: 各回とも2週間前

■住まいのなるほどセミナー 「住まいの資金計画」

- ①2月18日(土) 「かしい資金計画」
- ②3月17日(土) 「資金調達と名義」
- 時間: 13:30～15:30
- 会場: 5階研修室
- 講師: ①松井 一恵(日本FP協会会員) ②酒井 和彦(日本FP協会会員)
- 定員: 50名
- 申込締切: 各回とも2週間前
- 個別相談会: 定員4組(1組30分)

■住まいの大阪学 「食の原点は大阪にあり?」～大阪の生活文化を食から見る～

- ②1月22日(日)「船場・大阪の食文化」～やっぱり大阪は食いだおれ～
- ③2月19日(日)「大阪の食の知恵」～簡単に作れるほんまものダシ～
- 時間: 14:00～15:30
- 会場: 3階ホール
- 講師: ②近江 晴子(大阪天満宮文化研究所研究員) ③笹井 良隆(NPO法人 浪速魚業の会代表理事)
- 定員: 各回100名(先着順)
- 申込締切: 各回とも2週間前

2 住まい情報センター タイアップイベント

住まい情報センターと住まい・まちづくりの専門家団体等が共催するセミナー・イベントです。

■タイアップセミナー 「プロが教える! 快適な住み替えと賢い購入のコツ」

- 日時: 1月29日(日) 14:00～16:00
- 会場: 3階ホール
- 講師: 西本 淳一(社)大阪府宅地建物取引業協会認定インストラクター)
- 定員: 100名
- 申込締切: 1月15日(日)
- 個別相談会: 定員5組
- 団体: (社)大阪府宅地建物取引業協会

■タイアップセミナー 「モノにあふれた部屋はキケンがいっぱい」～安心して暮らせる整理収納術～

- 日時: 2月5日(日)
- ①セミナー-13:30～15:10 ②グループワーク15:25～16:00
- 会場: 3階ホール
- 講師: 原 佐智子(整理収納アドバイザー) 吉本 とも子(マスターライフオーガナイザー)
- 定員: ①100名 ②30名(セミナー申込者の中からご希望の方)
- 申込締切: 1月22日(日)
- 団体: 整理収納相談ねっと・おーさか

■タイアップ+plusイベント 「有料老人ホーム見学会」

- 日時: 2月22日(水) 12:45～16:00
- 会場: 大阪市東区(集合場所など詳細は参加者にお知らせします)
- コーディネーター: 米沢 なな子(社)コミュニティネットワーク協会 高齢者住宅情報センター代表)
- 定員: 30名
- 申込締切: 2月8日(水)
- 参加費: 880円(昼食代+保険代)
- 団体: (社)コミュニティネットワーク協会 高齢者住宅情報センター

■タイアップ+plusイベント 「住み継がれる家の価値の仕組み」

- 日時: 3月10日(土) 13:30～15:30
- 会場: 住まい情報センター5階研修室
- 講師: 大島 祥子(一級建築士) 他
- 定員: 50名
- 個別相談会: 定員3組
- 申込締切: 2月25日(土)
- 団体: NPO法人 住宅長期保証支援センター
- 共催: (財)勤労者住宅協会

1 主催イベント、2 タイアップイベントの参加申し込み方法

- 下記ホームページから参加申し込みができます。

住まい・まちづくり・ネット
<http://www.sumai-machi-net.com/>



- 携帯電話からも参加申し込みができます。
- ホームページ・携帯電話での申し込みは開催日の約2か月前からになります。
- ハガキまたはファックスでも参加申し込みができます。記入事項を明記し、下記の住所、ファックス番号へお申し込みください。

■タイアップ+plusイベント 「木の家をつくらう!」～家の骨組みってどんなだろう～

- 日時: 3月10日(土) 14:00～16:00
- 会場: ATC ITM棟11階エgressセンター-展示イベントホール
- 講師: もく(木)の会メンバー
- 定員: 30名(小学生以上、保護者同伴)
- 申込締切: 2月25日(土)
- 参加費: 500円 ●団体: NPO法人 もく(木)の会



3 その他 住まい関連イベント

申込方法は各主催者へお尋ねください。

■大阪市マンション管理支援機構交流会&相談会

- 3月4日(日)「管理組合交流会」
- 時間: 13:30～16:30 ●会場: 3階ホール
- 定員: 30名 ●申込締切: 2月22日(水)
- 2月26日(日)「相談会」
- 時間: 13:00～16:00
- 会場: 4階住情報プラザ
- 定員: 12組(1組45分/法律6組・管理一般3組・技術3組)
- 申込締切: 2月15日(水)
- 主催: 大阪市マンション管理支援機構(06-4801-8232)

■大阪市耐震改修支援機構セミナー

- 1月29日(日)「これで解決! 安心な耐震補強設計とその工事」
- 時間: 13:30～15:30 ●会場: 5階研修室
- 定員: 30名
- 「相談会」
- 時間: 15:30～16:00 ●会場: 5階研修室
- 定員: 5組 ●申込締切: 1月23日(月)
- 主催: 大阪市耐震改修支援機構(06-6882-7033)

■共催イベント 「住みごたえのある町」をつくる

- 映像で見るハンプルクのまちづくり—
- 3月4日(日) 13:30～15:30
- 会場: 5階研修室 ●定員: 50名
- 主催: 大阪市立大学
- 申込: 大阪市立大学文学部大場研究室 往復はがきまたはメールで 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 oba@lit.osaka-cu.ac.jp
- 申込締切: 2月20日(月)

大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館

9階 なにわ町家の歳時記
江戸時代の大阪の町並みを実物大で再現。大通りには、風呂屋や本屋、薬屋などが並び、ひとさき高い火の見櫓も、路地を抜けると裏長屋の庶民の生活をかき見することもできます。

8階 モダン大阪 パノラマ遊覧
近代大阪の代表的な住まいと暮らしを模型や資料で再現。

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20(住まい情報センター8階受付) TEL 06-6242-1170 FAX 06-6354-3002 URL <http://house.sumai.city.osaka.jp/museum/>

開館時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く)、第3月曜日(祝日、振替休日の場合はその週の水曜日)、年末年始

1月～3月の休館日	1/1～2、10、16、17、24、31 2/7、14、20、21、28 3/6、13、19、21、27
-----------	--

入館料 一般 600円/団体 540円(20人以上)
高・大生 300円/団体 270円(20人以上)
※中学生以下、障害者手帳を持参の方、市内在住の65歳以上無料(要証明書提示)
※企画展示の観覧料は別途必要です

交通機関 ●地下鉄谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅3号出口より直結
●JR大阪環状線「天満」駅から北へ徒歩7分

イベントのお申し込み・お問い合わせは

大阪市立 住まい情報センター

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20
住まい情報センター4F 住情報プラザ
TEL 06-6242-1160 FAX 06-6354-8601
URL <http://www.sumai.city.osaka.jp/>
開館時間 平日・土曜 9:00～19:00/日曜・祝日 10:00～17:00
休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く) 年末年始(12月28日～1月4日)

ホール・研修室・企画展示室の貸し出しをしています

住まいに関するさまざまな催しを開催している住まい情報センターのホールや研修室、そして大阪くらしの今昔館企画展示室。市民の方々にも広くご利用いただけます。

■お問い合わせ・ご予約
ホール・研修室 大阪市立住まい情報センター TEL 06-6242-1160
企画展示室 大阪くらしの今昔館 TEL 06-6242-1170

3階ホール

企画展示室

大 阪 市 住 ま い の ガ イ ド

※市外局番は全て「06」です。
 ※各事業の詳細は、おおさか・あんじゅ・ネットおよび大阪市ホームページからご確認ください。
 ※補助、助成事業の利用には事前協議が必要ですのでお早めにご相談ください。また、予算額に達し次第受付を終了しますのでご注意ください。

公的賃貸住宅を借りたい方へ

市営住宅テレホンサービス(テープ) TEL 6945-0031

市営住宅(公営住宅)

住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。

●定期募集

募集時期	7月募集：平成23年7月7日(木)～7月21日(木)[終了] 2月募集：平成24年2月3日(金)～2月16日(木)
居住条件	現に大阪市内に居住している方(一部、市内勤務の方も申し込み可能)
収入条件 (月額所得額)	一般世帯 158,000円以下 高齢者・障害者世帯等 214,000円以下

※新婚・子育て・単身者・一般世帯等、ご家族の状況等により、申込資格が設定されています。

●随時募集

定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住宅等について、先着順で随時受付を行っている住宅があります。申込資格は、現に大阪市内に居住している方で、収入条件は上記と同様です。

お問い合わせ	大阪市住まい公社 住宅管理部 管理課 募集担当 TEL 6882-7024 FAX 6882-7021
--------	--

中堅層向け住宅

公営住宅の収入基準を超えている方など、中堅層向けの賃貸住宅です。

●大阪市が管理している住宅

市営すまいりんぐ(子育て応援型)・市営すまいりんぐ・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅(地域リノベーション住宅)

収入条件(月額所得額)	158,000円以上(※123,000円)～487,000円以下
-------------	----------------------------------

※50歳未満の入居者所得が世帯合計所得の半分以上ある場合

お問い合わせ	大阪市住まい公社 住宅管理部 管理課 募集担当 TEL 6882-7012 FAX 6882-7021
--------	--

●大阪市住まい公社が管理している住宅

○公社一般賃貸住宅

収入条件(月額所得額)	158,000円以上(※123,000円)
-------------	-----------------------

※40歳未満の入居者所得が世帯合計所得の半分以上ある場合

○公社すまいりんぐ・民間すまいりんぐ(公社管理)

収入条件(月額所得額)	200,000円以上(※123,000円)～601,000円以下
-------------	----------------------------------

※40歳未満の入居者所得が世帯合計所得の半分以上ある場合

お問い合わせ	大阪市住まい公社 住宅管理部 管理課 募集担当 TEL 6882-9000 FAX 6882-7021
--------	--

●民間指定法人が管理している住宅

○民間すまいりんぐ(指定法人管理)

収入条件(月額所得額)	200,000円以上(※123,000円)～601,000円以下
-------------	----------------------------------

※40歳未満の入居者所得が世帯合計所得の半分以上ある場合

お問い合わせ	大阪市住まい公社 民間住宅課 TEL 6882-7055 FAX 6882-7011
--------	---

いずれも大阪市内にお住まいの方も申し込みます。(空家は先着順随時募集)

〈大阪市住まい公社ホームページ〉<http://www.osaka-jk.or.jp/>
 〈おおさか・あんじゅ・ネット〉<http://www.sumai.city.osaka.jp/>
 でも空家検索ができます(一部の住宅を除きます)。

※「すまいりんぐ」は特定優良賃貸住宅制度を適用した住戸です。

その他の公的住宅

●府営住宅

総合募集…募集時期：平成24年1月25日～2月8日
 詳細は下記までお問い合わせ下さい。

大阪市内の物件の お問い合わせ	大阪府住宅供給公社 府営住宅募集・審査グループ TEL 6203-5518
--------------------	--

●大阪府住宅供給公社賃貸住宅

ホームページ…<http://www.osaka-kousha.or.jp/>
 一般賃貸住宅…空家(窓口・インターネット)先着順受付
 高齢者向け優良賃貸住宅…空家(窓口・電話・インターネット)先着順受付

お問い合わせ	大阪府住宅供給公社 企画・募集審査グループ TEL 6203-5454
--------	--

特優良住宅…空家(窓口・インターネット)先着順受付

お問い合わせ	大阪府住宅供給公社 特優良住宅募集グループ TEL 6203-5956
--------	--

●都市再生機構賃貸住宅

窓口・インターネットにて先着順受付中(ホームページ…<http://www.ur-net.go.jp/kansai/>)
 高齢者向け優良賃貸住宅…空家状況により変更になりますのでお問い合わせください。

お問い合わせ	都市再生機構募集販売センター TEL 6346-3456(代表)
--------	----------------------------------

新婚・子育て世帯の方へ

市営住宅別枠募集

新婚世帯及び子育て世帯(小学校修了前の子どものいる世帯)に対して、市営住宅の別枠募集を行っています。

募集時期：市営住宅(公営住宅)の定期募集、親子近居住宅と同期間

お問い合わせ	大阪市住まい公社 住宅管理部 管理課 募集担当 TEL 6882-7024 FAX 6882-7021
--------	--

大阪市新婚世帯向け家賃補助制度

市内の民間賃貸住宅に入居する新婚世帯に、家賃の一部を補助します。

申込条件	過去2年以内に婚姻届出している方、かつ夫婦いずれも40歳未満の方。収入制限があります
補助額	家賃の実質負担額(家賃-住宅手当)と5万円の差額で、受給開始後36カ月目までは月額1万5千円が上限、37カ月目以降は月額2万円が上限です
補助期間	婚姻届出後1年以内の方は最長6年間、婚姻届出後1年を超え2年以内の方は最長5年間

お問い合わせ	大阪市住まい公社 新婚家賃助成課 TEL 6355-0355 FAX 6355-0351
--------	---

大阪市子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度

民間金融機関や住宅金融支援機構の融資を受けて初めてマイホームを取得する子育て世帯を対象に、利子補給を行います。

申込条件 (H23年度)	<ol style="list-style-type: none"> 年間所得が1,200万円以下、自らが居住する住宅を初めて取得する、申込日時点で小学校6年生以下の子どもがいる方(同一世帯において、過去に大阪市民間分譲マンション購入融資利子補給金の交付を受けた方は申し込みできません) 住宅取得にかかる契約(売買・譲渡・請負)の締結日から1年を経過していない方又は1年を経過していても返済が開始されていない方(第1回目の約定返済日までに申し込みを行った方。ただし、第1回目の約定返済日が融資実行日から1ヶ月に満たない場合は第2回目の約定返済日までに申し込みを行った方) フラット35、又は銀行等(大阪市と協定を締結する金融機関)の住宅ローンで、返済期間が10年以上かつ返済開始から当初5年間の融資利率が年1.0%を超えているもので融資条件が変わらないもの(当初5年間のうちに変動金利になるものは対象外) 床面積(マンションの場合は専有面積)が30㎡以上で、完了検査済証の交付されている民間住宅(都市再生機構等の公的団体が分譲後、中古住宅として流通するものは含みませ)
利子補給額	利子補給対象融資額のうち、償還元金残高(2,000万円を超える場合は、2,000万円とします)に対して、年0.5%以内(融資利率から1%を減じた率で上限0.5%)の金額
利子補給期間	返済が開始された日から60ヵ月以内(すでに返済が開始されている場合は、申込日までの返済分は利子補給の対象としません)

お問い合わせ	大阪市住まい公社 民間住宅課 TEL 6882-7050 FAX 6882-7011
--------	---

大阪市子育て安心マンション認定制度

子育てに配慮した民間の新築マンションを「子育て安心マンション」として認定する制度です。認定を受けたマンション情報を「大阪市ホームページ」などで提供しています。

認定基準	室内の工夫：扉の事故防止対策、シックハウス対策、バリアフリー化など 共用部の工夫：キッズルームや児童遊園の設置、廊下のバリアフリー化など 子育て支援：子育てサークルづくり、交流会開催など
------	---

お問い合わせ	大阪市都市整備局 まちづくり事業企画グループ TEL 6208-9211 FAX 6202-7064
--------	---

認定を受けたマンションを購入し、りそな銀行の住宅ローンを申し込まれた場合、物件により金利が引き下げられます。(防災力強化マンションとも)

お問い合わせ	りそな銀行ローン営業部 本町ローンプラザ TEL 6268-6380 FAX 6268-6386
--------	---

子育て支援等公社ストック活用制度

子育て世帯等の市内居住を促進するため、大阪市住まい公社が管理する「民間すまいりんぐ(特優良)」の一部空家について、所得に応じて契約家賃より引き下げられた一定の入居者負担額で入居することができる制度です。

申込条件	子育て世帯…現に同居し又は同居しようとする小学校6年生以下の子どもを含む親子・夫婦を中心とした世帯 収入超過者世帯…大阪市営住宅に居住する世帯のうち公営住宅法に規定する収入超過者世帯(単身者及び高額所得者は除く)。 ほかに収入条件などがあります。
------	---

お問い合わせ	大阪市住まい公社 住宅管理部 管理課 募集担当 TEL 6882-9000 FAX 6882-7021
--------	--

高齢者・障害者・母子家庭の方へ

市営住宅別枠募集

市営住宅の申込資格があり、市内にお住まいの方が対象です。
 ※ケア付住宅については、家賃や共益費以外に費用負担がかかる場合があります。
 募集時期：毎年5月上旬の予定

●**高齢者住宅・高齢者特別設計住宅** 60歳以上の方が、次の親族と同居する世帯。
 ・配偶者、18歳未満の児童、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(認定カードを含む)のいずれかの手帳の所持者及び同程度の障害のある方又は戦傷病者手帳の所持者、60歳以上の方。

●**高齢者ケア付住宅(※)**
 単身…60歳以上で、独立して日常生活が営める方。
 世帯…60歳以上で、独立して日常生活が営める夫婦のみの世帯、または、60歳以上の親族からなる2名以上の世帯。

お問い合わせ	大阪市健康福祉局 高齢福祉課 TEL 6208-8052 FAX 6202-6964
--------	---

●**障害者住宅** 申込者または同居する親族に障害者がいる2名以上の世帯

●**障害者ケア付住宅(※)**
 単身…身体障害者手帳(1級～4級)、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(認定カードを含む)を所持する方及び同程度の障害者又は戦傷病者手帳を所持する方で居宅において常時の介護を受けることにより、自立した生活ができる方。
 世帯…身体障害者手帳(1級～4級)、精神障害者保健福祉手帳(1級・2級)、療育手帳(A・B1)、認定カードを所持する方及び同程度の障害者と条件を満たす親族(障害者、配偶者、60歳以上の方、60歳以上の方を含む夫婦)で、いずれも自立した生活が営める2名以上の世帯。

●**車いす常用者向特別設計住宅** 身体障害者手帳(1級または2級)を所持する重度の障害者で、車いすを常用する方のいる2名以上の世帯。
 ●**車いす常用者向ケア付住宅(※)**
 身体障害者手帳(1級または2級)を所持する重度の障害者で、車いすを常用する方と条件を満たす親族(障害者、配偶者、60歳以上の方、60歳以上の方を含む夫婦)で、いずれも自立した生活が営める2名以上の世帯。

●**母子住宅** 配偶者のない女子とその子ども(扶養している20歳未満の児童が含まれること)のみで構成する世帯。

お問い合わせ	大阪市健康福祉局 障害福祉課 TEL 6208-8081 FAX 6202-6962
--------	---

●**親子近居住宅** 親世帯(60歳以上)と子世帯で、同一区内での生活を希望する方。
 募集時期：平成23年11月4日(金)～11月11日(金)[終了]

お問い合わせ	大阪市住まい公社 住宅管理部 管理課 募集担当 TEL 6882-7024 FAX 6882-7021
--------	--

その他、貸付・助成制度

●**高齢者住宅改修費助成制度**
 介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯、及び、二次予防事業対象者(介護保険制度の要介護認定で非該当(自立)と認定された方)が属する世帯で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を助成します。所得制限があります。なお、必ず事前に申請が必要です。

●**重度心身障害者(児)住宅改修費給付事業**
 在宅の重度の身体・知的障害者の方が、日常生活上の障害の除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。

お問い合わせ	各区 保健福祉センター 保健福祉課
--------	-------------------

マンション管理組合の方へ

分譲マンション建替検討費助成制度

マンションの建替えの検討を行う管理組合に対して、検討費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる検討経費の1/3 上限:150万円

お問い合わせ	大阪市都市整備局 住宅政策グループ TEL 6208-9224 FAX 6202-7064
--------	--

分譲マンションアドバイザー派遣(予約制・無料)

マンションの建替えや計画的な修繕・省エネルギー改修についてのアドバイスを行うため、管理組合の勉強会などの講師役として専門家を派遣します。

お問い合わせ	予約申し込み 大阪市立住まい情報センター TEL 6242-1177(相談専用)
--------	---

大阪市マンション管理支援機構

公共団体や、建築、法律などの専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの案内や情報誌等を無料で送付します。

お問い合わせ	大阪市マンション管理支援機構事務局 (大阪市立住まい情報センター4階 住情報プラザ内) TEL 4801-8232 FAX 6354-8601
--------	---

建替え、耐震診断・改修をしたい

民間老朽住宅建替支援事業〈タテカエ・サボータイング21〉

古いアパートや長屋など(昭和56年以前の建築物、ただし鉄筋コンクリート造は築後32年以上)を補助要件を満たす共同住宅に建替える場合、建設費の補助や融資のあっせんなどの支援を行います。

●建替専門家相談(弁護士・建築士)各月1回 予約制

●ハウジングアドバイザーの派遣(共同建替・協調建替)

●建替建設費補助制度…共同住宅に建替える際の費用の一部を補助。

●従前居住者家賃補助制度…補助を受けて建替える住宅の従前居住者に家賃の一部を補助。補助期間は、一般世帯は3年以上、高齢者世帯等は5年以上。

●賃貸住宅建設資金融資制度…補助を受けて賃貸共同住宅を建設する場合、建設資金の融資(25年間、ただし店舗等は10年間)をあっせん。

●狭あい道路沿道老朽住宅除却促進制度(「特に優先的な取り組みが必要な密集住宅市街地(約1,300ha)(以下、「優先地区」という。))のみ)優先地区において、幅員4m未満の狭あい道路に面する昭和25年以前に建てられた木造住宅等を除却する場合、除却に要する費用の一部を補助(除却後の用途は問いません)。

優先地区等では、補助要件の緩和、補助及び融資内容の優遇等があります。

大阪市耐震診断・改修補助事業

一定の要件を満たす民間戸建住宅等の所有者に対して、耐震診断・耐震改修に要する費用の一部を補助します。また、建築関係団体等と連携して設立した大阪市耐震改修支援機構から実績のある耐震事業者の紹介を行います。※平成23年度の補助申し込み受付は平成23年12月28日で終了しています。

●らくらく耐震診断(耐震診断費補助)

耐震診断に要する費用の9/10以内(限度額:4万5千円/戸、18万円/棟)を補助。耐震診断と耐震改修設計(工事費見積を含む。以下同じ。)をセットにした「パッケージ耐震診断」は、前段の耐震診断費補助に加え、耐震改修設計に要する費用の2/3以内(限度額:10万円/戸、18万円/棟)を併せて補助。

●なっとく耐震改修(耐震改修工事費補助)

耐震改修工事に要する費用の1/2以内(限度額:100万円/戸)を補助。1階のみ又は寝室等の一部屋だけを補強する耐震改修工事等も補助対象。

お問い合わせ	大阪市住まい公社 耐震・密集市街地整備支援課 TEL 6882-7053 FAX 6882-0877
--------	---

その他

防災力強化マンション認定制度

耐震性や耐火性など建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。
 認定物件の金利引き下げについては、子育て安心マンション認定制度の欄をご覧ください。

お問い合わせ	大阪市都市整備局 民間開発グループ TEL 6208-9648 FAX 6202-7064
--------	--

都市防災不燃化促進事業(今里筋沿道・緑橋～百済貨物駅)

地域防災計画に定める避難路のうち、本市の指定する避難路の沿道区域(道路境界から奥行き30mの範囲)で、一定の基準に適合する耐火建築物等を建設される方に助成を行います。

お問い合わせ	大阪市都市整備局 民間開発グループ TEL 6208-9649 FAX 6202-7064
--------	--

大阪市エコ住宅普及促進事業

断熱性能が高く、太陽光発電や省エネルギー性能に優れた設備を設置するなどした戸建て住宅やマンションを大阪市エコ住宅に認定します。また、認定された住宅の住宅ローンに対して利子の一部を補助します。(補助の条件あり)

お問い合わせ	住宅認定に関すること… 大阪市都市整備局まちづくり事業企画グループ TEL 6208-9221 FAX 6202-7064 利子補給に関すること… 大阪市住まい公社民間住宅課 TEL 6882-7050 FAX 6882-7011
--------	--



あんじゅ メッセージボード Message Board

このページでは、「あんじゅ」や「住まい情報センター」に対するご意見や応援メッセージ、センターの活動やお知らせなど、さまざまな情報をお届けします。「あんじゅ」「住まい情報センター」へのご意見・ご要望、今後とりあげてほしいテーマ、開催してほしいイベントなどを、どしどしお寄せください。

みんなの声

「シンポジウム 旭山動物園と大阪らしの今昔館」受講者アンケートより
 ● 思いもよらない取り合わせのテーマが、興味深く楽しめました。
 ● 坂東園長のお話の中で自然の姿、調教ではない、芸でない、強制でないありのままの姿を大事に接しておられること、自分らしく、動物たちの本来の姿で生と死に向かうこと、死に対して尊厳があり、オリの中で死んだ動物への思い、ありがとうの気持ちに感動しました（擬人化しないこと!! 同感です）。今昔館の江戸時代のそのままを表した町並みが良い!! 楽しかったです。

● 今昔館には、これからの企画展等を楽しみに足を運びたいと思います。人間の行動心理も客観的に語られて楽しかったです。同時開催の写真展へも多くの方が参加されました。「かわいい」「いやされた」「子どもが喜んだ」などの感想をいただきました。



写真展の様子

私の 住まい情報センター 活用術

和田さん夫妻(大阪市中央区)

40年余暮らした市内の戸建住宅から、平成23年4月、リフォームした中古マンションに住み替えた和田さん宅を訪ねました。夫妻ともに新居に大満足している理由は、住み替えまでの2年間に秘けつがあったようです。



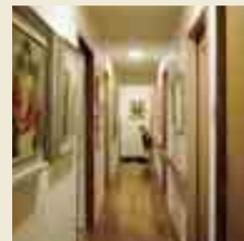
和田さんご夫妻(夫75歳、妻72歳)
「住まい情報センターで2年間、みっちり勉強をしたからこそ、快適な家が住み替えることができました。」

2人の娘が独立した後は2人暮らしに。ともに70代になり、今の体調やこれからの生活の利便性を考えると、マンションの方が暮らしやすいと思ったんです。でも主人は、趣味の絵を描くアトリエがあった前の家が好きで、住み替えを渋って…。2年前に中古マンションを購入したものの、しばらく人に貸すことにしました。そのころ区役所で住まい情報センターのちらしをもらったんです。初めてマンションに住むのだから、少し勉強してみようかなあと、センターが実施するセミナーや講習会に申し込みました。この2年で、リフォーム・照明・引っ越し・インテリア・バリアフリー・ダニやカビを防ぐ・省エネ・収納・家づくりシミュレーション・防災・防犯など、いろんなテーマを勉強しましたねえ。次第に、どんな住まいがいいのか考えをまとめ、設計者に伝え

ることができるようになってきました。

平成23年になってからリフォーム工事を発注。開口部はすべて二重サッシにしたので結露の防止効果は高く、幹線道路に面しているのに、とても静かです。リビングの照明は調光できるLEDに、他の電灯は暖かい色か白っぽい色かを用途で使い分け、電気代は前の半分以下ですよ。ドアは上から吊るす引き戸にしたので、室内への段差がなくなりました。セミナーの講師に教えてもらったことをヒントにして、長く使うキッチンにお金をかけ、家の中に季節感を出すよう工夫しています。

グラフィックデザイナーとして働いたかわら絵画を覚えてきただけに、主人の描いた作品も膨大にありました。それらを思い切って飾ることを前提に内装を考えたので、室内はギャラリーのような空間に大変身。今では主人も新居に満足しています。センターで勉強したことが家づくりにすべて役立ちました。(夫妻の談話より)



■廊下に絵画
夫が描きためた作品のうち、18点の絵を室内に展示。廊下は、美術館や画廊のような雰囲気になりました。時々作品を入れ替えます。



■リビング畳コーナー
愛娘を描いた大きな絵をリビングの正面に掛け、収納を兼ねた琉球畳のコーナーがお気に入りの空間に。

住まいのQ&A

Q 「リバースモーゲージ」とは何ですか？

A 自宅を担保にして老後の資金を借りる仕組み

リバースは「逆」、モーゲージは「抵当・抵当権」を意味します。リバースモーゲージとは、持ち家があっても現金収入が乏しい高齢者が、マイホーム(居住用不動産)を担保にして、自治体や金融機関などから融資を受け、それを生活費などに活用し、死亡時に担保となっていたマイホームを売却し、その金額でそれまでに融資された金額と利子を一括返済する制度のことです。

通常の住宅ローンは、住宅を購入するために利用し、ローンの契約時に一括して融資を受け、一定の返済期間中に元利合計を分割して返済し、返済期間が終了した時には、負債はゼロとなっています。これに対してリバースモーゲージは、契約した全期間に分



割して融資を受け、契約を終了した時点で元利の合計を一括返済します。いわば住宅ローンとは逆の考え方をするために、リバースモーゲージと言います。少子高齢化時代の切り札とも言われています。

リバースモーゲージの場合、処分したマイホームの価格が返済額を上回った分は相続人に相続されます。相続人は不動産自体を相続し、金銭で返済することもできます。この仕組みはわが国では、1981年に東京都武蔵野市から始まり、各自治体に広まってきました。近年では、国土交通省管轄で「高齢者向け返済特例制度」、厚生労働省管轄で「長期生活支援資金」など国による公的制度が導入されたり、金融機関や住宅メーカーなどもリバースモーゲージへ参入しています。大阪市では91年から、市が融資の斡旋を行う間接融資方式によるリバースモーゲージの取り組みが始まりました。(次回は「建築士の役割」とは?)

住まい・まちづくりネットワークからのお知らせ

NEWS 住まい情報センター
イメージキャラクターの愛称が「すまじょーくん」に決まりました!

キャラクターの愛称募集に710通・615種類のご応募をいただきました。ご提案して下さったみなさん、また愛称に投票して下さったみなさん、ありがとうございます。審査の結果、愛称を「すまじょーくん」と決定しました。「すまじょーくん」をご提案して下さった、金蘭千里中学校3年3組のみなさんに副賞をお送りいたします。また、抽選で50名様にすまじょーくんのオリジナル缶バッジをお送りします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。お問い合わせ 大阪市立住まい情報センター 企画担当 TEL: 06-6242-1160 FAX: 06-6354-8601

【由来】この愛称は、「住まい情報センター」の「住まい」と「情報」を組み合わせて名付けました。すまじょーくんは、住まいに関する情報を発信し、みなさんの快適な住まいづくりを応援します。みなさんにかわいがっていただけるよう、住まい情報センターのスタッフと一緒に頑張ります! どうぞよろしくお願い致します。



すまじょーくんと
よんでください。

大阪市からのお知らせ

サービス付き高齢者向け住宅登録制度が始まりました

各住戸の面積や提供されるサービスなど、国の定めた一定の基準を満たす賃貸住宅等を「サービス付き高齢者向け住宅」として登録する制度がスタートしました。制度の概要及び登録された住宅の情報は、こちら (<http://www.satsuki-jutaku.jp/>) をご覧ください。お問い合わせ 大阪市都市整備局 住宅政策課 TEL: 06-6208-9228 FAX: 06-6202-7064

以下、広告です。広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。「広告掲載」のお問い合わせは、大阪市都市整備局企画部住宅政策課 TEL: 06-6208-9224

Design Your Energy 暮らしの明日を

大阪ガス

エネルギーをつくる家へ

ダブルエネルギーでダブル発電

ENE-FARM
燃料電池

SOLAR
太陽光発電

ダブル発電

ガスではじまる
新しい暮らし。
ディバ大阪で
見つけよう!

住まい情報センター3階
平日/10:00~19:00
土・日・祝日/10:00~17:00
(火曜日・年末年始休館)

Tel.06(6354)0751